

5 業務概要

○ ウイルス課

ウイルス課では、感染症や食中毒に係る病原微生物の試験検査を実施しました。

また、感染症発生動向調査及び感染症流行予測調査(日本脳炎及びポリオ感染源調査)を実施し、感染症の動向を総合的に把握しました。

令和5年度の検査状況は、表1に示すとおりです。延検査項目数は、2,086件でした。

表1 ウイルス担当試験検査(令和5年度)

項目	検査件数	検 体 数				延検査項目数
		行政検査	依頼検査	調査研究	小 計	
食中毒・感染症集団発生調査	56				56	342
インフルエンザ集団発生調査	4				4	96
E 型 肝 炎	5				5	5
A 型 肝 炎	1				1	2
リ ケ ッ チ ア	63				63	120
リ ケ ッ チ ア 抗 体 検 査	2				2	24
重症熱性血小板減少症候群	37				37	37
急 性 脳 炎	3				3	6
エ イ ズ (HIV 検 査)	2				2	4
風 し ん ・ 麻 し ん	15				15	49
原 虫 (水 道 原 水)	1				1	2
新型コロナウイルス次世代シーケンス	457				457	457
感 染 症 発 生 動 向 調 査				122	122	538
感染症流行予測調査	ポリオ感染源調査			36	36	324
	日本脳炎感染源調査			80	80	80
計	646	0	238	884	2,086	

1 行政検査

(1)食中毒・感染性胃腸炎集団発生事例

令和5年度の検査状況は、表2に示すとおりです。8事例、56検体(便49、提供食品残品7)について調査しました。

表2 食中毒・感染性胃腸炎集団発生事例とウイルス検出状況一覧(令和5年度)

No.	依頼日	原因施設 (推定)	管轄 保健所	検体	PCR検査結果			
					検出 ウイルス	検体数	陽性数	遺伝子型・亜 型
1	2023.8.11	給食施設 (県外)	佐賀中部	便	(-)	1	0	
2	2023.9.21	給食施設 (県外)	佐賀中部	便	(-)	1	0	
			杵藤	便	(-)	1	0	
3	2023.11.20	障害者支 援施設	伊万里	便	NoV	4	3	GⅡ.2
4	2023.12.28	給食施設 (県外)	杵藤	便	NoV	1	1	GⅡ.4
5	2024.2.1	給食施設	杵藤	便	NoV	6	1	GⅡ.7
				NoV	3		GⅡ.7	
	2024.2.2			便	AdenoV	6	1	
					SapoV		1	
6	2024.2.8	障害者支 援施設	杵藤	便	NoV	6	3	GⅠ.1
7	2024.2.29	給食施設	佐賀中部	便	NoV	12	3	GⅠ.1、GⅡ.7
8	2024.3.20	給食施設	佐賀中部	便	NoV	11	7	GⅡ.4
				提供食品 残品	(-)	7	0	

(2)インフルエンザ集団発生調査

インフルエンザ疑いの集団発生1事例(4検体)について検査を実施し、1事例(4検体)からヒトメタニューモウイルスを検出しました。

(3)E型肝炎検査

E型肝炎疑い患者2事例(5検体)について、国立感染症研究所へRT-PCR法及び遺伝子解析による検査を依頼した結果、1事例(2検体)の陽性を確認しました。

(4)A型肝炎検査

A型肝炎疑い患者1事例(1検体)について、RT-PCR法及び遺伝子解析法による検査を実施し、1事例(1検体)の陽性を確認しました。

(5)重症熱性血小板減少症候群(SFTS)検査

SFTS疑い患者の検体について、RT-PCR法による検査を37事例(37検体)について実施し、2事例(2検体)の陽性を確認しました。

(6)リケッチア検査

日本紅斑熱及びつつが虫病リケッチア疑い等患者の検体について、リアルタイム PCR 及び PCR 法による検査を 41 事例(100 検体)について実施した結果、つつがむし病 4 事例(8 検体)、日本紅斑熱 14 事例(17 検体)の陽性を確認しました。

また、PCR 陰性事例のうち 1 事例のペア血清(急性期および回復期血清)について、宮崎県衛生環境研究所へつつが虫の病原体 *O.tsutsugamushi* (5 株)及び日本紅斑熱の病原体 *R.japonica* (YH 株)の間接蛍光抗体検査を依頼した結果、陰性でした。

(7)急性脳炎検査

急性脳炎疑い患者の検体を、RT-PCR 法による検査を 1 事例(3 検体)について実施した結果、1 事例(3 検体)からコクサッキーウイルス B5 型が検出されました。

(8)エイズ(HIV検査)

佐賀県特定感染症検査事業の HIV 抗体検査実施マニュアルに基づき、血清 2 検体について二次スクリーニング検査(ELISA 法)及び確認検査(イムノクロマト法)を実施した結果、2 件の陽性を確認しました。

(9)風しん・麻しん

風しん及び麻しん疑い患者の検体について、リアルタイム RT-PCR 法による検査を 5 事例(15 検体)実施した結果、1 事例から風しんウイルス(1 検体)及び麻しんウイルス(2 検体)が検出されましたが、いずれもワクチン株でした。

(10)原虫(水道原水)検査

簡易水道の水道原水 1 検体について、クリプトスポリジウム及びジアルジアの顕微鏡学的検査及び RT-PCR 検査を実施した結果、原虫は検出されませんでした。

(11)コロナウイルス次世代シーケンス検査

新型コロナウイルスの次世代シーケンス検査は、県内医療機関で採取された陽性検体や福祉施設等で採取された検体のうち、457 検体についてゲノム解析を実施し、456 検体の系統分類を実施しました。

事例・資料編:佐賀県における新型コロナウイルス検出状況(令和 5 年度)参照

2 調査研究

(1)感染症発生動向調査事業

7 病原体定点など(表 3)から、令和 5 年度は 122 検体が搬入され、疾患名はインフルエンザ、咽頭結膜熱及び手足口病などでした。

検出されたウイルスは、インフルエンザウイルス、コクサッキーウイルス及びアデノウイルス等でした。

事例・資料編:佐賀県感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出状況(令和 5 年度)参照

表 3 病原体定点の分類別医療機関数

	インフルエンザ	小児科	基 幹
医療機関数	5	2	6

(2) ポリオ流行予測調査(感染源調査:環境水からのポリオウイルス分離・同定)

ポリオウイルスについて、環境水(下水)からの濃縮・分離・培養・同定の調査を6月から11月の6か月間にわたって調査しました。その結果、ポリオウイルスは検出されませんでした。エンテロウイルス属やアデノウイルス等が高率に検出され、感染症発生動向調査の対比データとなりました。

(3) 日本脳炎流行予測調査事業

日本脳炎ウイルスに対する豚の感染状況を分析し、その流行を推定することを目的として、ブタ80頭について日本脳炎ウイルス抗体保有状況調査(感染源調査)を実施しました。

事例・資料編:感染症流行予測調査事業における日本脳炎感染源調査概要(令和5年度)参照

3 精度管理

検査の信頼性確保を目的として、外部精度管理に参加しました。

- (1) 厚生労働省外部精度管理事業「新型コロナウイルス(ウイルス遺伝子配列の解読・解析)」
- (2) 厚生労働省外部精度管理事業「麻しん・風しんウイルスの核酸検出検査」
- (3) 国立感染症研究所「ウイルス分離培養・同定技術実態調査」

4 倫理審査委員会の開催

令和5年12月21日に佐賀県衛生薬業センター倫理審査委員会を開催し、「佐賀県内におけるオズウイルス感染症の実態調査」に関する研究が承認されました。